

青森県

定数：3名

立候補者数：3名



氏名 米田 良平

都道府県士会 青森県

年齢 42

勤務先名称 平内中央病院



氏名 小野寺 遊

都道府県士会 青森県

年齢 46

勤務先名称 メディカルコート八戸西病院

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

- 2013年～ 青森県理学療法士会 理事
- 2016年～ 日本理学療法士協会 代議員
- 2017年～ 青森県理学療法士会 副会長
- 2023年～ 青森県理学療法士会 会長

ここ数年はCovid-19の感染拡大の影響で我々は多くの困難に直面し、取り巻く環境は大きく変化しました。
 5類感染症への移行後は、ニューノーマルでの平穏な日常に戻ってきたものの、研修会等への参加状況を見ると、会員の県士会活動への意識の変化を強く感じます。
 私は県士会活動に主体的に携わって得た多くの経験が、職場での日常業務や個人のキャリア形成の上で大きな力になったと感じています。
 会員が主体的に関わることで、キャリア形成の一助を実感できる”新時代”に即した協会、県士会の運営が求められているように感じます。
 若い役員構成で運営している県士会の立場から考えて参りたいと思います。

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

- 平成25年～平成26年 (一社) 青森県理学療法士会 職能局 部員
地域包括ケアシステム推進委員会 委員長
- 平成27年～平成28年 (一社) 青森県理学療法士会 理事 職能局担当
- 平成29年～平成30年 (一社) 青森県理学療法士会 副会長 職能局長
- 平成31年～令和元年 (一社) 青森県理学療法士会 副会長 職能局長
- 令和2年～令和4年 (一社) 青森県理学療法士会 副会長 職能局長
- 令和5年～ (一社) 青森県理学療法士会 副会長 職能局長

2025年問題に向けた地域包括ケアシステムの構築において行政や地域へ対して理学療法士の存在をアピールし理学療法士がいかに参入し貢献できるかを試行錯誤しながら県士会活動に力を入れてきた10年間であった。これからのステージは理学療法士の強みをより可視化し、地域において何が出来るかのユーザーマニュアルを県内の市町村レベルもしくは国政に対し啓蒙していくことが必要になると考える。これに対しては会員の増加による質の低下、コロナウイルス感染対策による対面研修参加者の減少などでより地域で活躍できる人材育成に向け様々な課題が挙げられる。
 今後も理学療法士の啓蒙活動、地域で活躍できる人材育成、県内の管理者ネットワークの構築、これらを3本柱として据えて士会活動を行っていききたい。全世代共存社会を目指し各都道府県・市町村で私たち今後理学療法士は地域貢献していく必要があるが、そのためには日本理学療法士協会がスクラムを組み導いていく役割がある。今後も理学療法士ができる可能性を模索し未踏の地を切り開けるよう努力していきたい。



氏名 二宮 高志

都道府県士会 青森県

年齢 52

勤務先名称 介護老人保健施設とわだ

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

平成26年～平成28年	青森県理学療法士会	職能局介護保険部門委員
平成28年～令和元年	青森県理学療法士会	地域包括ケアシステム推進委員会委員
令和元年～令和3年	青森県理学療法士会	理事 社会局地域包括ケア担当
令和3年～令和5年	青森県理学療法士会	理事 支部局長・地域包括ケア担当
令和5年～	青森県理学療法士会	理事 副会長・支部局長・地域包括ケア担当

主に介護保険や地域包括ケアシステム関連について、青森県士会にて担当させていただいております。
令和元年より2期4年、理事として青森県や市町村との連絡調整や研修会企画運営に携わらせてきました。
令和5年からは副会長を拝命し、理学療法士と関係自治体とのよりよい関係作りを目指し活動しております。
県士会会員の皆様の思いや私の経験を協会に伝え、より良い協会との関係を構築する橋渡しを行うことを目指し、この度の代議員選挙に立候補させていただきました。
よろしくお願い致します。